

報道機関 行政機関報道担当 御中
(枚方記者クラブにも配信しています)

NEWS RELEASE



2019年11月6日配信【No.9】 <<配信枚数 2枚>>

「大地震だ！」どうする？病院の機能低下 病院対象災害研修プログラム「DT-H」に建築学科学生らが協力 【11月10日、大阪府吹田市 国立循環器病研究センター】

摂南大学（学長：萩田喜代一）理工学部建築防災工学研究室は11月10日、国立循環器病研究センター（理事長：小川久雄）と共催で病院対象災害研修プログラム「DT-H」を実施します。

これまでの病院災害研修は、医療従事者を対象としたトリアージ訓練を中心に行われてきました。本学で2014年に開発したDT-H（Disaster Training program for Hospitals）は、地震後に病院内で発生する病院建物の損壊や電気、ガス、水道などのライフライン途絶による病院の診療機能低下などに対し、病院としてどのように対応していくのかを考える図上訓練型災害研修です。本研修は医療系、事務系を含めたオール病院体制で災害研修を実施することが特長で、災害による病院被害を知り、自病院施設に対する理解を深め、研修後に自病院の災害対策を促進することを狙いとしています。そのため、研修先病院の実際の平面図や配置図を使いながら、付与されたカードに記載されている災害事案について解決策を考えます。

本研修はこれまで山形県、福島県、兵庫県、大阪府堺市、鹿児島県の合計30を超える病院で実施してきました。今回は今年7月に移転した最先端の医療現場である同センターで研修を実施し、国立医療機関として災害意識の高揚を図ります。当日は同研究室の学生らが同センター専用の研修プログラムを提供し、ファシリテーターを務めます。

つきましては、実施概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願いいたします。

.....【実施概要】.....

1. 日 時：2019年11月10日（日）13：30～16：00
2. 場 所：国立循環器病研究センター（吹田市岸部新町6-1）

※プログラムなどの詳細は別紙をご参照ください。

以 上

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 理工学部建築学科 教授 池内 淳子
大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL. 072-839-9128（建築学科共通準備室）

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：笹部・上田）
TEL. 072-800-5371 携帯 090-3038-9892

【国立循環器病研究センターにおける病院被害を想定した研修プログラム】

日 時：2019年11月10日（日）13：30～16:00

場 所：国立循環器病研究センター

主 催 者：摂南大学、国立循環器病研究センター

参 加 者：1班～7班：各8人、8班：7人 計63人

ファシリテータ：摂南大学大学院生2人、理工学部生10人、
教員他2人、摂南大学大学院修了生3人、計17人

プログラム：

- 13：30～ 挨拶【国立循環器病研究センター】
- 13：40～ プログラム趣旨説明（条件設定、プログラムの進め方）
- 14：00～ 図上訓練スタート
- 14：50～ 休憩
- 15：00～ 各班のプロダクトの発表
- 15：30～ 病院建物被害発生後の対応について【池内教授】
- 15：45～ まとめ【国立循環器病研究センター】
- 15：55～ ご挨拶【国立循環器病研究センター】

※終了後、アンケートにご協力をお願いします。

以 上

20XX年、秋の朝、大阪府を大地震が襲います。本プログラムでは、院内の非医療者である皆さんが、地震後の病院運営をする立場となったと仮定し、さまざまな要求や条件にどのような対応を行うかについて、参加者同士でグループに分かれてシミュレートしていきます。

【本日のシナリオ】

ある秋の暑い朝、大阪を大きな揺れが襲った。揺れは収まり、病院には被害がなさそうだ。ただ、外を見ると、煙が立ち上がり、多くの家が倒れている。これは・・・たくさんの傷病者が発生するかもしれない。院内には災害対策本部が立ち上がり、各部署からの被害確認が必要だ！・・・・・・